2026 年度

授　業　概　要

日本女子大学通信教育課程
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY CORRESPONDENCE COURSE

構　成

授業概要とは／注意事項／備考

授業概要の見方

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）シラバス参照用ＤＰコード

「テキスト科目」学習の進め方（一般的な例）

「スクーリング科目」受講に向けての準備

基礎科目

教養科目

家政学部共通科目

児童学科科目

食物学科科目

生活芸術学科科目

食科学科科目

卒業セミナー科目※家政学部のみこちらに掲載

教職に関する科目※児童学科と共通の科目を除く

司書教諭に関する科目

授業概要とは

授業概要とは、各授業科目の概要や到達目標、授業計画等を学生向けに示したものです。授業科目名、担当教員名、概要、到達目標のほか、テキスト科目・スクーリング科目固有の項目に基づき、各授業担当教員が作成しています。

また、授業概要は以下の内容に際して必ずご一読ください。

①履修登録に際してのガイド

②テキスト科目履修にあたっての補助教材

③スクーリング科目受講にあたっての準備の指針

注意事項

・「卒業論文」及び「卒業研究」の掲載はありません。「履修の手引」（@SS で公開）を参照してください。

・原則として内容に関する質問・問い合わせには応じられません。

・他大学(院)等への進・入学時に、本学通信教育課程で履修した授業科目のシラバスの提示を求められる場合があります。他大学(院)等への進・入学を検討している学生は、各自履修した科目の授業概要（履修した年度のもの）を保存しておいてください。

備　　考

・テキスト・教科書の情報に変更が生じた場合や、当初の授業計画どおりにスクーリング授業を実施できないと担当教員が判断した場合や、担当教員が交替した際には、授業概要の一部又は全部を変更することがあります。その際は、当該科目の授業概要のみをＨＰに掲載して差し替えます。

・授業概要のＰＤＦを閲覧する際は、Ctrl+Ｆボタン→参照したい授業科目名を入力することで検索ができます。

授 業 概 要 の 見 方

科目表種類／系列　　略称-整理番号

授業科目名（テキスト科目／スクーリング種別）　　担当教員：　○○　○○

○年次～　　○単位　　〖　　〗　　開講種類／○○年度

概要

授業の方法

学位授与方針との関係

到達目標

《共通》

《テキスト科目》

学習の進め方

内容

テキスト・参考書

①テキスト
②参考書

成績評価

①リポート
②科目修了試験

その他

《スクーリング科目》

授業計画

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間
事前課題
②使用教科書
③参考書
④持参（準備）するもの
⑤成績評価
⑥学生へのメッセージ
⑦追試験

《共通》

科目表種類／系列　略称-整理番号

基礎科目・教養科目・家政学部共通科目・各学科科目・教職に関する科目・司書教諭に関する科目、それぞれの科目表の種類と系列を示します。右肩に各科目表の略称と整理番号を記載しています。

授業科目名（テキスト科目／スクーリング種別）

授業科目名及びテキスト科目 or スクーリング科目のどちらなのか、またスクーリング科目の場合は実施時の種別も示しています。

担当教員　　当該授業科目を担当する教員の氏名を示します。
○年次～　　登録・履修できる年次を示します。それより上の学年の学生も履修できます。
○単位　　必修・選択必修・選択の別と単位数を示します。
〖　〗　　各学科科目のうち、当該学科で取得できる資格等にかかる科目に資格名等を付記しています。
開講種類／○○年度開講の種類（テキスト科目又はスクーリング科目）と開講年度を示します。

授業の方法

テキスト科目は教材に基づいての学生主体の授業です。【印刷教材等】と表記されます。
スクーリング科目は、【面接】（対面で授業を行う）と【遠隔】で実施します。
遠隔授業には、以下の３つの形式があります。

- 【動画視聴型】：manaba を利用し、講義動画を視聴します。小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、受講者同士の意見交換等を行います。エニタイムスクーリング以外の動画視聴型は、原則として設定された授業時間内に受講する必要があります。
- 【同時双方向型】：manaba とともに、Zoom、Microsoft Teams を利用したリアルタイムの授業を受けます。
  小テストや課題提出による理解度確認や質疑応答、受講者同士の意見交換等を行います。
- 【オンデマンド型】アップロードされた動画・資料などの電子資料を所定の期間内に視聴し、個々の科目で設定される期間内に小テストやレポートなど課題をオンラインで提出します。所定期間内であれば自由な時間に繰り返し動画を見ることが可能です。

学位授与方針との関係

授業の到達目標に対応する学位授与方針（ＤＰ）コードは、科目により「大学全体（大学ＤＰ）」、「各学科（児童ＤＰ、食物ＤＰ、生芸ＤＰ、食科ＤＰ）」から記載しています。「通信教育課程　学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）シラバス参照用ＤＰコード」から内容を確認できます。

《テキスト科目》

学習の進め方　標準的な学習の進め方を示します。

内容　原則として 15 週の授業に相当する項目に分け、学習する内容を示します。テキストの構成に従って記している科目もあります。

テキスト・参考書　指定する①テキストと、②参考書を掲載します。

成績評価　①リポートと②科目修了試験に分け、それぞれの評価を示します。

その他　当該科目を履修する上で、学生に求められることなどを記しています。特にない場合は項目自体を省いています。

《スクーリング科目》

授業計画　15 週(30 時間)又は 8 週(15 時間)の授業に相当する項目に分け、授業計画を示します。

受講にあたって　スクーリング授業に出席するにあたり必要な準備、指定する教科書等を以下の項目に分けて記しています。

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

事前課題　事前課題を課す科目のみ掲載しています。

②使用教科書　授業開始前に各自で必ず購入し、準備すること。

③参考書・④持参（準備）するもの　授業開始前に各自で確認し、適宜準備すること。

⑤成績評価　どのように評価をつけるかを記載しています。

⑥学生へのメッセージ　特にない場合は項目自体を省いています。

⑦追試験　「対象科目」「対象外科目」のどちらかを記載しています。

通信教育課程　学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）
シラバス参照用コード

授業概要の「学位授与方針との関係」では、授業の到達目標に対応する学位授与方針（ＤＰ）をＤＰコードで記載しています。

日本女子大学 DP

日本女子大学は、多様で大きく変化し続ける社会の中で、様々な立場の人の幸福と平和を実現する明日を共創するために、自らの役割を見出し、探究心と信念を持って生涯にわたって学び実践し続ける人間の成長を、本学の教育の理念（三綱領）に基づき支援する教育・研究活動を行う。本学は、学生が本学における学びと生活を通じ、以下の能力を修得することを、学位授与方針とする。

・DP１　変わりゆく社会を豊かに生きる確かな知識と教養

〇専門的な知識・技法および技能 〇専門領域にとらわれない幅広い知識や教養

・DP２ 新たな価値や新しい知を創造するための基礎力

〇論理的思考力 〇情報収集力・批判的な検証力 〇課題発見力 〇プレゼンテーション力

〇議論の中で考えを深め、発信する力

・DP３ 多様性を尊重し、協働する力

〇多様性に関する知識 〇他者へ共感する力、相手とのつながりを形成する力

〇目的の達成のために協働する力

・DP４ 地球レベルの視野をもって生活し、行動する力

〇地球レベルの問題への知識と、その問題に自分事として関わる力

〇境界を越えてコミュニケーションする力

・DP５ 主体的に生涯学び続ける態度

〇自身に向き合い、目標を立て、その実現のために学び、行動する力

基礎科目群 DP

本学では、本学の教育の理念に基づき、学部・学科共通の基礎的な知識や技能、ならびに幅広い教養を身につけるための基盤的科目群を提供する。本学の全ての学生は、その学修を通じて、大学ディプロマ・ポリシーならびに各学科で定める到達目標（学科ディプロマ・ポリシー）を達成するための基礎的な力を身につける。この基盤的科目群によって身につく学修成果は以下のとおり。

・外国語（必修英語）

〇英語を読む力、書く力が向上する。さらに、必要な情報を収集して、英語によるプレゼンテーションをすることができる。

〇英語という言語の背景にある文化・社会に対する理解を深め、その理解に基づいて英語によるコミュニケーションをとることができる。

【大学 DP2・DP4】

・外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）

〇ドイツ語、フランス語、中国語または韓国語の基本的な文法を理解し、状況に応じた基本的なコミュニケーションをとることができる。

〇ドイツ語、フランス語、中国語または韓国語の文化的背景に対する理解が深まる。

【大学 DP3・DP4】

・情報処理

〇情報科学、情報処理に関する基礎的な知識をもち、それを活用した情報の整理、分析、可視化、表現ができる。また、情報倫理に基づいた判断ができる。

【大学 DP1・DP2】

・身体運動

〇適切な運動を実施するための知識と技能を習得できる。

〇生涯にわたる運動の意義を理解し、深めることができる。

〇他者と共に運動を楽しみ、心身の健康の保持・増進、体力向上を図ることができる。

【大学 DP1・DP3・DP5】

教養科目 DP

〇専門にとらわれない幅広い知識が身につき、専門以外の分野への関心が高まる。

〇豊かな人生を生きるために必要な聞く力および自立する意欲が身につく。

【大学 DP1・DP2】

児童学科

児童学科では、「心理」「教育」「健康」「文化」「社会」の５分野からなる児童学の先端的な専門的知識に基づき、18 歳未満の子どもを生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材の育成を目指す。児童学科における学修の成果として、以下の能力を修得することをディプロマ・ポリシーとする。

〇児童学科 DP１

児童学の先端的な研究方法や「心理」「教育」「健康」「文化」「社会」の５分野の専門的知識を身につけ、子どもについて多角的に理解することができる。（大学 DP１）

〇児童学科 DP２

子どもに関する現代的課題や社会的ニーズを把握し、子どもや子どもを取り巻く環境を的確に分析することができる。（大学 DP２ 大学 DP３）

〇児童学科 DP３

家庭や地域における生活者としての子どもの育ちや環境をよりよくする目標達成のために、 多職種の専門職と協働するための基礎力を身につけることができる。（大学 DP３、DP４）

○児童学科 DP４

子どもの最善の利益を考えながら、子どもに関する課題の解決のために主体的に行動することができる。（大学 DP４ 大学 DP５）

食物学科

「教育目標・方針」

食に関する基礎科学的および専門的知識、技術を身につけ、食品関係の企業や教育の場や地域社会において貢献できる人材を育成する。食品学、調理学、栄養学に関する包括的な知識を身につけることができる。

○食物学科 DP１

食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門的技術を修得できる。（大学 DP１ 大学 DP２）

○食物学科 DP２

学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門的技術を用い、食に関する問題解決に応用することができる。（大学 DP１ 大学 DP２）

○食物学科 DP３

食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、他者と協働して様々な問題に取り組む姿勢が身につく。（大学 DP１ 大学 DP３）

○食物学科 DP４

生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、プレゼンテーションすることができる。（大学 DP２ 大学 DP３）

○食物学科 DP５

生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身につく。（大学 DP３ 大学 DP５）

○食物学科 DP６

人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、食に関する諸問題に地 球環境・SDGs を考えてグローバルな視点から取り組む態度が身につく。（大学 DP４ 大学 DP ５）

生活芸術学科

生活芸術学科では、衣生活と住生活に関する幅広い専門領域の学修を通して、衣生活や住生活の創造に資する知識、技能、思考を科学的な視点から身につけ、豊かで充実した人間生活の実現や我々の生活における様々な問題の解決に貢献できる人材の育成を目指す。そのため、以下の能力の修得を教育上の目標とする。

○生活芸術学科 DP１

衣生活、住生活における科学的・文化的・芸術的な広い側面から生活の質の向上に役立つ、被服学と住居学の基礎ならびに関連諸分野の知識を習得している。（大学 DP１）

○生活芸術学科 DP２

衣生活、住生活における様々な課題に関連した情報やデーターを収集し、体系的に分析、整理し、解決策を構築できる。（大学 DP２）

○生活芸術学科 DP３

衣生活、住生活の学びを通して、多様性に関する理解を深め、共感力や協働する力を高める。（大学 DP３）

○生活芸術学科 DP４

地球レベルの視野を持って、衣生活・住生活の質の向上に関心を持ち、社会における自らの役割と責任を自覚できる。（大学 DP４）

○生活芸術学科 DP５

快適な生活や環境の実現に向けて、具体的な方法や工夫を反映でき、提案や成果物を他者にわかりやすく表現し説明し、生涯学ぶ態度を持つことができる。（大学 DP５）

食科学科

○食科学科 DP１

食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門的技術を修得できる。

○食科学科 DP２

学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門的技術を用い、教育の場や社会における食に関する問題解決に応用することができる。

○食科学科 DP３

食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、他者と協働して様々な問題に取り組む姿勢が 身についている。

○食科学科 DP４

生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、プレゼンテーションをすることができる。

○食科学科 DP５

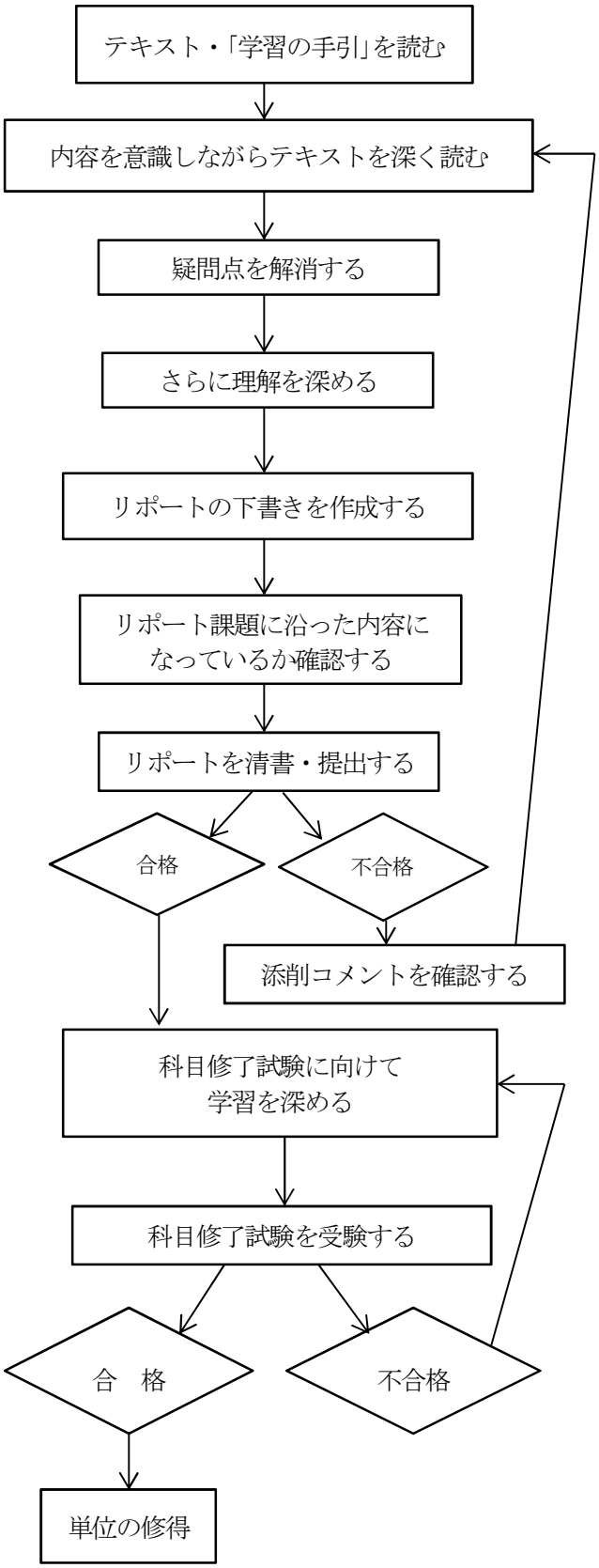
生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身につく。

〇食科学科 DP６

人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、また食に関する諸問題に地球環境・ SDGs を考えてグローバルな視点から取り組む態度が身につく。

「テキスト科目」学習の進め方（一般的な例）

教材（テキスト）による授業が「テキスト科目」です。その学習の進め方の例を以下に記します。
ひとりでの学習が基本となりますので、科目の特性や学生自身の生活に合わせて着実に学習を進めましょう。



(1)テキストをひととおり読む。「学習の手引」を熟読する。

(2)テキストの構成に従い、テーマや内容を意識して深く読む。ポイントと思われる部分や疑問を持った部分を書き出しておく。

(3)テキスト・参考文献で学習し、質問票により疑問点を解消する。

(4)「リポート課題集」の課題を確認し、リポートの内容を構想しながらテキストを再読する。参考文献にあたり、学習をさらに深める。

(5)「リポート課題集」・「学習の手引」を参照しながら、リポートの下書きを作成する。

(6)下書きリポートが課題に沿ったものになっているかテキストや参考文献を参照しながら確認する。

(7)リポートを作成し、提出する。

(8)リポート不合格となった場合は添削内容（コメントを含む。）を確認し、テキストを改めて学習した上でリポートを作成し直し、再提出する。

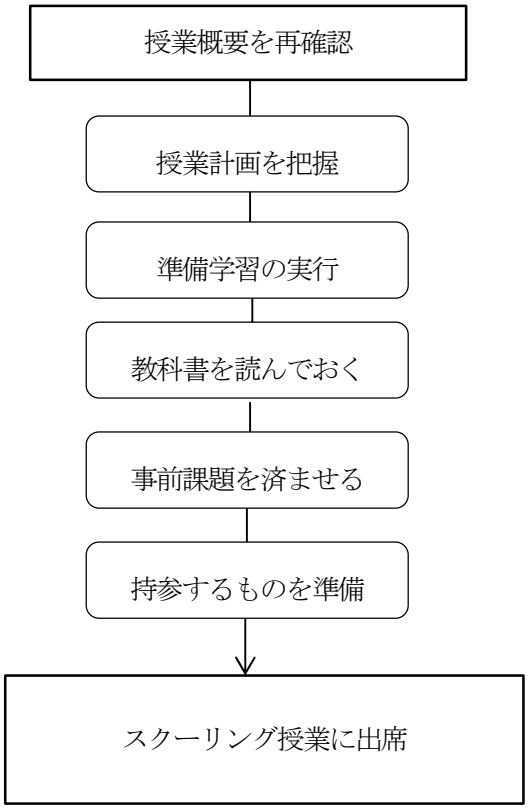
(9)リポートが合格したら、科目修了試験を申し込む。科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。返却されたリポートを読み直し、添削内容（コメントを含む。）に応じてさらに学習を深める。

(10)受験許可を得られた科目を受験する。科目修了試験に不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。質問票を利用してもよい。

(11)科目修了試験に合格し、単位を修得する。

「スクーリング科目」受講に向けての準備

面接又はメディアを利用して行う授業が「スクーリング科目」です。
スクーリング科目では原則として準備学習を課しています。履修が確定され次第、早めに準備を進めましょう。
また、スクーリング科目にはあらかじめ持参（準備）するものが必要な科目がありますので、授業概要をよく確認してください。特に、スクーリング科目の実施形態が遠隔の場合にはパソコンやヘッドセットなどの機器の準備が必要になります。



(1)授業概要で準備学習・事前課題の内容を確認する。使用教科書が指定されている場合は購入し、事前に読んでおく。

(2)授業概要掲載の内容に即して準備学習を実施し、事前課題を作成する。レポート形式での課題提出を課されている科目で特に指定のない場合は、レポート１ページ目に「授業科目名」「学籍番号」「氏名」を明記し、指導教員の指示に従って提出する（原則として授業初日に提出)。

(3)授業概要「受講にあたって」の準備するものを必ず確認し、用意しておく。

※モバイルの検索機能等を電子辞書代わりとすることはできない。